

保 晃, 平田 文, 落合勇人, 原 毅, 浦野友彦: 呼吸器内科患者におけるサルコペニア有病率と嚥下機能と低栄養の関係. 第 62 回日本老年医学会学術集 WEB 開催, 2020 年 8 月 4 日-6 日, 日本老年医学会雑誌 (0300-9173) 57 巻 Suppl. Page106(2020.07).

- 15) Raksanan Karawekpanyawong, Kaname Nohno, Yu Kubota, Kayoko Ito, Saori Funayama, Hiroshi Ogawa: Decreased Masticatory Performance, Salivation, and Number of Teeth in Relation to Lower Micronutrient Intake in Older Adults. 令和 2 年度新潟歯学会第 1 回例会, 新潟大学 (新潟県・新潟市), 2020 年 7 月 4 日, 新潟歯学誌 (0385-0153) 50 巻 2 号 Page81-82. 2020.
- 16) 小貫和佳奈, 真柄 仁, 辻村恭憲, 伊藤加代子, 渡邊賢礼, 那小屋公太, 船山さおり, 羽尾直仁, 井上 誠: 新潟大学医歯学総合病院歯科における口腔機能低下症の評価と検討. 令和 2 年度新潟歯学会第 1 回例会, 新潟大学 (新潟県・新潟市), 2020 年 7 月 4 日, 新潟歯学誌 (0385-0153) 50 巻 2 号 Page74-75. 2020.

#### 【その他】

- 1) 井上 誠: 誤嚥性肺炎で後を落とさないために何をすべきか? 財界にいがた, 2021 年 4 月号, 26-33, 2021 年 3 月.
- 2) 井上 誠: ケンジュがダイジ〜BSN健康寿命延伸キャンペーン〜. 2021 年 3 月 13 日 (土) 16:00〜16:30.
- 3) 伊藤加代子: 介護認定審査に向けて, 介護認定審査委員のための研修会, 新潟市歯科医師会, 2021 年 3 月 (オンライン開催)
- 4) 建部一毅, 石田雅樹, 真柄 仁, 小幡裕明, 樋浦 徹, 前川和也, 樋浦真由, 伊藤加代子, 辻村恭憲, 井上 誠: 摂食嚥下機能評価をベースとした誤嚥性肺炎患者に対するクリニカルパス策定と有効性の検討. 新潟市医師会報, No.598, 2-8, 2021. 1.
- 5) 伊藤加代子: 女の更年期を悩ます, 口とどのの大問題, 週刊文春 women, vol. 8, 118-120, 2021.
- 6) 真柄 仁, 坂 暢晃: 要介護高齢者における口腔ケアのポイント, 介護老人保健施設 あすか(新潟市), 2020 年 12 月 4 日.
- 7) 2020 年度にいがた摂食嚥下障害サポート研究会講演会, WEB 開催, 2020 年 11 月 22 日
- 8) 真柄 仁: 嚥下困難について -在宅施設における摂食嚥下機能評価とリハビリテーション- 2020 年度在宅訪問管理栄養士研修会, 新潟県栄養士会, ユニゾンプラザ (新潟市), 2020 年 11 月 18 日.
- 9) 伊藤加代子: 管理栄養士に必要な知識-口腔ケアに

ついて-, 2020 年度在宅訪問管理栄養士研修会, 新潟県栄養士会, 新潟市 (リモート参加), 2020 年 11 月 18 日.

- 10) 井上 誠: 摂食嚥下障害の臨床への貢献は口腔から. 注目される研究報告. 新潟大学季刊広報誌六花, 34: 8, 2020.
- 11) 高波里帆: 県内大学生等の県内定着促進支援事業 「新潟県内の歯科医衛生士の活躍を知る講座」. 明倫短期大学. 2020 年 10 月 15 日.
- 12) 伊藤加代子: 口腔乾燥症および味覚障害の実態と東洋歯科医学的アプローチ, 株式会社ツムラ社内勉強会, 新潟市 (リモート開催), 2020 年 9 月 10 日.
- 13) 伊藤加代子: 適切な口腔保湿剤の選び方, 第 16 回金沢口腔フォーラム, 金沢市 (リモート開催), 2020 年 8 月 30 日.
- 14) 日本老年歯科医学会教育委員会, 佐藤裕二, 小笠原正, 大渡凡人, 會田英紀, 伊藤加代子, 金久弥生, 中根綾子, 村田比呂司, 宮原康太: 老年歯科医学教育基準, 老年歯科医学第 35 巻 1 号 22, E40-46, 2020.
- 15) 日本老年歯科医学会教育委員会, 佐藤裕二, 小笠原正, 大渡凡人, 會田英紀, 伊藤加代子, 金久弥生, 中根綾子, 村田比呂司, 宮原康太: 老年歯科医学 診療参加型臨床実習マニュアル「嚥下内視鏡検査」, 老年歯科医学第 35 巻 1 号 22, E18-39, 2020.
- 16) 日本老年歯科医学会教育委員会, 佐藤裕二, 小笠原正, 大渡凡人, 會田英紀, 伊藤加代子, 金久弥生, 中根綾子, 村田比呂司, 宮原康太: 老年歯科医学 診療参加型臨床実習マニュアル「移乗」, 老年歯科医学第 35 巻 1 号 15, E1-17, 2020.

#### 硬組織形態学分野

##### 【論文】

- 1) Ohshima H, Mishima K, Amizuka N: Oral biosciences: The annual review 2020. J Oral Biosci 63(1): 1-7, 2021.
- 2) Soda M, Saito K, Ida-Yonemochi H, Nakakura-Ohshima K, Kenmotsu S, Ohshima H: Reduced enamel epithelium-derived cell niche in the junctional epithelium are maintained for a long time in mice. J Periodont 91(6): 819-827, 2020.
- 3) Ida-Yonemochi H, Ohtsu K, Harada H, Ohshima H: Functional expression of sodium-dependent glucose transporter in amelogenesis. J Dent Res 99(8): 977-986, 2020.
- 4) Nakatomi M, Ludwig KU, Knapp M, Kist R, Lisgo S, Ohshima H, Mangold E, Peters H: Msx1 deficiency

interacts with hypoxia and induces a morphogenetic regulation during mouse lip development. *Development* 147(21): dev189175, 2020.

- 5) Yamazaki M, Maruyama S, Abé T, Tsuneki M, Kato H, Izumi K, Tanuma JI, Cheng J, Saku T: Rac1-dependent phagocytosis of apoptotic cells by oral squamous cell carcinoma cells: A possible driving force for tumor progression. *Exp Cell Res* 392(1): 112013, 2020.
- 6) Kanavati F, Toyokawa G, Momosaki S, Rambeau M, Kozuma Y, Shoji F, Yamazaki K, Takeo S, Iizuka O, Tsuneki M: Weakly-supervised learning for lung carcinoma classification using deep learning. *Sci Rep* 2020 10(1): 9297, 2020.
- 7) Ohsumi T, Takenaka S, Sakaue Y, Suzuki Y, Nagata R, Hasegawa T, Ohshima H, Terao Y, Noiri Y: Adjunct use of mouth rinses with a sonic toothbrush accelerates the detachment of a *Streptococcus mutans* biofilm: an in vitro study. *BMC Oral Health* 20(1): 161, 2020.
- 8) Quispe-Salcedo A, Sato T, Matsuyama J, Ida-Yonemochi H, Ohshima H: Responses of oral-microflora-exposed dental pulp to capping with a triple antibiotic paste or calcium hydroxide cement in mouse molars. *Regen Ther* 15: 216-225, 2020.
- 9) Hasegawa T, Takenaka S, Oda M, Domon H, Hiyoshi T, Sasagawa K, Ohsumi T, Hayashi N, Okamoto Y, Yamamoto H, Ohshima H, Terao Y, Noiri Y: Sulfated vizantin causes detachment of biofilms composed mainly of the genus *Streptococcus* without affecting bacterial growth and viability. *BMC Microbiol* 20(1): 361, 2020.
- 10) Kao YH, Igarashi H, Uyghurturk DA, Li Z, Zhang Y, Ohshima H, MacDougall M, Takano Y, Den Besten P, Nakano Y: Fluoride alters signaling pathways associated with the initiation of dentin mineralization in enamel fluorosis susceptible mice. *Biol Trace Elem Res*. 2020 Oct 28. doi: 10.1007/s12011-020-02434-y. Online ahead of print.
- 11) Otsu K, Ida-Yonemochi H, Ikezaki S, Ema M, Hitomi J, Ohshima H, Harada H: Oxygen regulates epithelial stem cell proliferation via RhoA-actomyosin-YAP/TAZ signal in mouse incisor. *Development* 148(4): dev194787, 2021.
- 12) Lee DJ, Lee SJ, Lee MJ, Kim EJ, Ohshima H, Jung HS: The role of angiogenesis and pulpal healing in tooth replantation and allograft transplantation. *Biochem Biophys Rep* 26: 100945, 2021.
- 13) Kim EJ, Lee JE, Yoon S, Lee DJ, Mai HN, Ida-Yonemochi H, Choi J, Jung HS: Hypoxia-responsive

oxygen nanobubbles for tissues-targeted delivery in developing tooth germs. *Front Cell Dev Biol* 9: 626224, 2021.

#### 【商業誌】

- 1) 大島勇人：口腔の筋肉のしくみとはたらき 臨床に活かす解剖学アトラス（第1回）顔にある筋肉 筋肉の概要と表情筋, *デンタルハイジーン* 46(6): 586-591, 2020.
- 2) 大島勇人：口腔の筋肉のしくみとはたらき 臨床に活かす解剖学アトラス（第2回）顔にある筋肉 口の周囲の筋肉, *デンタルハイジーン* 46(7): 773-777, 2020.
- 3) 大島勇人：口腔の筋肉のしくみとはたらき 臨床に活かす解剖学アトラス（第3回）顔にある筋肉 咀嚼・嚥下にかかわる筋肉, *デンタルハイジーン* 46(8): 809-813, 2020.
- 4) 大島勇人：口腔の筋肉のしくみとはたらき 臨床に活かす解剖学アトラス(第4回) 顔にある筋肉 口底部の筋肉, *デンタルハイジーン* 46(9): 988-993, 2020.
- 5) 大島勇人：口腔の筋肉のしくみとはたらき 臨床に活かす解剖学アトラス(第5回) 顔の筋肉と加齢変化・義歯との関係, *デンタルハイジーン* 46(10): 1033-1037, 2020.
- 6) 大島勇人：口腔の筋肉のしくみとはたらき 臨床に活かす解剖学アトラス(第6回)(最終回) 顔の筋肉と感染症波及との関係, *デンタルハイジーン* 46(11): 1214-1219, 2020.

#### 【研究費獲得】

- 1) 大島勇人, 常木雅之, 依田浩子, 原田英光：他家歯胚移植実験を用いた接合上皮の由来・維持機構の解明と接合上皮幹細胞の同定. 日本学術振興会科学研究費補助金 挑戦的研究(萌芽), 20K21672, 2020.
- 2) 依田浩子, 原田英光, 入江太郎：エナメル上皮細胞の動態を制御するストレス応答性糖代謝調節機構の解明. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C), 18K09505, 2020.
- 3) 真喜志佐奈子：オッセオインテグレーション獲得過程における細胞動態とオステオポンチンの役割. 日本学術振興会科学研究費補助金 特別研究員奨励費, 19J11806, 2020.
- 4) 大島邦子, 大島勇人, 早崎治明：歯胚移植を応用した歯根膜静的幹細胞の恒常性維持機構の解明. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C)「一般」, 17K11953, 2020.
- 5) 武藤徳子, 石井信之, 大島勇人：歯髄治癒過程にお

- けるマクロファージ・歯髄幹細胞・再生神経のクロストークの解明. 日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究(C), 18K09588, 2020.
- 6) 柴田俊一, 船戸紀子, 依田浩子, 藤川芳織: 下顎頭軟骨初期形成を制御する因子の探求. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C), 18K06820, 2020.
  - 7) 勝見祐二, 大島勇人: 解剖体頭部 CT による舌神経 3 次元的走行経路と筋間隙との関係性の解明. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C), 19K10283, 2020.
  - 8) 下村淳子, 森田貴雄, 大島勇人: 歯の発生過程における上皮間葉相互作用のプロテオミクスによる解明. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C), 20K10237, 2020.
  - 9) 大島勇人, 佐藤雅彦, 高見寿子: 解剖学模型の開発. 令和元年度共同研究, 2020.

#### 【招待講演・シンポジウム】

- 1) 大島勇人, 川瀬知之: 歯, 歯周組織の発生から学ぶ. 第 19 回日本再生医療学会総会, Web 開催, 2020 年 5 月 18-29 日, 8 月 27 日-9 月 10 日.
  - 2) 大島勇人: 効率的な研究成果のアピール方法について. 第 62 回歯科基礎医学会学術大会教育セミナー (協賛: エルゼビア・ジャパン株式会社/座長: 網塚憲生), Web 開催, 2020 年 9 月 11 日-10 月 9 日. J Oral Biosci Suppl 2020, p.97, 2020.
  - 3) 大島勇人: 骨芽細胞と象牙芽細胞の由来・分化・表現型の違い. 第 62 回歯科基礎医学会学術大会アップデートシンポジウム (座長: 長谷川智香, 大島勇人), Web 開催, 2020 年 9 月 11 日-10 月 9 日. J Oral Biosci Suppl 2020, p.120, 2020.
  - 4) 川瀬知之, 大島勇人: PRP (PRF) 調製法の世界標準化の動きと出荷判定基準, 第 20 回日本再生医療学会総会, シンポジウム 32 治療領域横断的に考える PRP 再生治療とエビデンス (座長川瀬知之, 大島勇人), Web 開催, 2021 年 3 月 11-13 日 (~5 月 31 日).
- 3) 真喜志佐奈子, 山崎智彦, 大島勇人: タンパク/ペプチド導入デンタルインプラントにおける直接性骨形成促進効果の検証. 第 19 回日本再生医療学会総会, Web 開催, 2020 年 5 月 18-29 日, 8 月 27 日-9 月 10 日.
  - 4) 依田浩子, 大島勇人: 糖代謝異常がマウス歯髄組織へ及ぼす影響. 第 125 回日本解剖学会総会・全国学術集会, 誌上開催, 2020 年 3 月 25-27 日. 第 125 回日本解剖学会総会・全国学術集会 講演プログラム・抄録集, 2020.
  - 5) 高見寿子, 林 孝文, 佐藤 昇, 大島勇人: 顔面の皮膚と表情筋とを繋げる Fascia の肉眼・画像解剖学的考察. 第 125 回日本解剖学会総会・全国学術集会, 誌上開催, 2020 年 3 月 25-27 日. 第 125 回日本解剖学会総会・全国学術集会 講演プログラム・抄録集, 2020.
  - 6) 井上 茜, 高 靖, 吉崎恵悟, 進 正史, 中富千尋, 中富満城, 岡部幸司, 大島勇人, 高橋一郎, 自見英治郎: p130Cas のエナメル質形成過程における役割. 第 62 回歯科基礎医学会学術大会, Web 開催, 2020 年 9 月 11 日-10 月 9 日. J Oral Biosci Suppl 2020, p.170, 2020.
  - 7) 依田 浩子, 大島 勇人: マウス歯髄組織の発生・再生治癒過程におけるコンドロイチン硫酸の機能発現. 第 62 回歯科基礎医学会学術大会, Web 開催, 2020 年 9 月 11 日-10 月 9 日. J Oral Biosci Suppl 2020, p.281, 2020.
  - 8) Suzuki K, Makishi S, Nakatomi M, Saito K, Ida-Yonemochi H, Ohshima H: Role of osteopontin in the process of pulpal healing following tooth replantation in mice. 第 62 回歯科基礎医学会学術大会, Web 開催, 2020 年 9 月 11 日-10 月 9 日. J Oral Biosci Suppl 2020, p.365, 2020.
  - 9) 高見寿子, 林 孝文, 佐藤 昇, 大島勇人: 顔面の皮膚の皺と表情筋・Fascia との関係. 第 20 回日本抗加齢医学会総会, Web 開催, 2020 年 9 月 25-27 日.
  - 10) 真喜志佐奈子, 大島勇人: オッセオインテグレーション獲得過程へのオステオポンチンコーティングインプラントの効果. 令和 2 年度新潟歯学会第 2 回例会, 新潟, 2020 年 11 月 7 日. 新潟歯学会雑誌 50(2), 2020.
  - 11) Suzuki Kiyoko, 真喜志佐奈子, 中富満城, 斎藤浩太郎, 依田浩子, 大島勇人: Osteopontin and root development stage are essential for pulpal healing following tooth replantation. 第 20 回日本再生医療学会総会, Web 開催, 2021 年 3 月 11-13 日.
  - 12) 高見寿子, 林 孝文, 佐藤 昇, 大島勇人: 顔面の Fascia と表情筋に認められる層構造と画像解剖学.

#### 【学会発表】

- 1) Otsu K, Ida-Yonemochi H, Ikezaki S, Ohshima H, Harada H: Oxygen regulates dental epithelial stem cell proliferation via RhoA-actomyosin-YAP/TAZ signal. ISSCR 2020 VIRTUAL, 2020. 2. 23-27.
- 2) 渡辺泰典, 川瀬知之, 真喜志佐奈子, 佐野拓人大島勇人: PRP 血小板濃度がマウス顎骨への PRP 併用インプラント埋入後のオッセオインテグレーションに及ぼす影響. 第 19 回日本再生医療学会総会, Web 開催, 2020 年 5 月 18-29 日, 8 月 27 日-9 月 10 日.

第126回日本解剖学会総会・全国学術集会, Web開催, 2021年3月28-30日. 第126回日本解剖学会総会・全国学術集会 講演プログラム・抄録集, 2021.

#### 【受賞】

- 1) 清野雄多: Three-dimensional configuration of apical epithelial compartments including stem cell niches in guinea pig cheek teeth. 歯科基礎医学学会第6回令和2年(2020)ベストペーパー賞.

#### 【その他】

- 1) Ohshima H: Vice Editor-in-Chief, Journal of Oral Biosciences
- 2) Ohshima H: Section Editor, Regenerative Therapy
- 3) Ohshima H: Editorial Board, Frontiers in Physiology
- 4) Ida-Yonemochi H: Editorial Board, Frontiers in Physiology 依田浩子: 文部科学省 科学技術専門調査員.
- 5) 依田浩子: 文部科学省 科学技術専門調査員.
- 6) 大島勇人: エンドドンティクス. 神奈川歯科大学特別講義, 横須賀, 2020年9月1日.
- 7) 大島勇人: 組織学の研究法. 新潟大学医学部保健学科特別講義, 新潟, 2020年10月16日.
- 8) 大島勇人: 象牙芽細胞と骨芽細胞の分化の違いを考える. 東京医科歯科大学大学院特別セミナー, 東京, 2021年3月4日.
- 9) 川瀬知之, 大島勇人: (企画) 第20回日本再生医療学会総会, シンポジウム32 治療領域横断的に考える, 1. 楠本健司: 美容医療におけるPRP療法の現状と課題; 2. 井上 肇: 多血小板血漿を用いた難治性皮膚潰瘍治療の保険収載; 3. 高橋雄三: 歯科インプラント治療のための歯槽骨造成へのPRPの応用; 4. 新井規仁: スポーツ医学におけるPRP治療と社会的普及; 5. 川瀬知之: PRP(PRF)調製法の世界標準化の動きと出荷判定基準, Web開催, 2021年3月11-13日(～5月31日).

### 口腔病理学分野

#### 【著書】

- 1) 田沼順一, 松坂賢一編著: 口腔細胞診入門 歯科医院で取り組むLBC. 1-124頁, 医歯薬出版, 東京, 2021.
- 2) 恒吉正澄(監修), 小田義直, 相島慎一(編集), 田沼順一: わかりやすい病理学 改訂第7版 第10章 感覚器官(聴器・視器). 287-294頁, 南江堂, 東京,

2021.

- 3) 下野正基, 高田 隆, 田沼順一, 豊澤 悟: 新口腔病理学 第3版 第10章 臨床症状から見た口腔粘膜疾患. 143-161頁, 医歯薬出版, 東京, 2021.

#### 【論文】

- 1) Sakurai K, Tomihara K, Yamazaki M, Heshiki W, Moniruzzaman R, Sekido K, Tachinami H, Ikeda A, Imaue S, Fujiwara K, Noguchi M. CD36 expression on oral squamous cell carcinoma cells correlates with enhanced proliferation and migratory activity. Oral Diseases, 26 (4): 745-755, 2020.
- 2) Sakurai K, Nakamori K, Yamazaki M, Tanuma J. An ectomesenchymal chondromyxoid tumour on the lateral border of the tongue. International Journal of Oral and Maxillofacial Surgery, 49 (10): 1290-1293, 2020.
- 3) Maeda SI, Fujiwara K, Tomihara K, Yamazaki M, Imaue S, Noguchi M. A case of anti-laminin 332 mucous membrane pemphigoid manifesting as desquamative gingivitis. Oral Science International, 18 (1): 73-77, 2021.
- 4) Yamazaki M, Maruyama S, Abé T, Tsuneki M, Kato H, Izumi K, Tanuma J, Cheng J, Saku T. Rac1-dependent phagocytosis of apoptotic cells by oral squamous cell carcinoma cells: A possible driving force for tumor progression. Experimental Cell Research, 392 (1): 112013, 2020.
- 5) Kimura N, Tsuchiya A, Oda C, Kimura A, Hosaka K, Tominaga K, Hayashi K, Abé T, Umezu H, Terai S. Portal vein thrombosis associated with trossseau syndrome due to urinary bladder squamous cell carcinoma in a liver cirrhosis patient. Internal Medicine, 59 (16): 1971-1975, 2020.
- 6) Abé T, Kitagawa N, Yoshimoto S, Maruyama S, Yamazaki M, Inai T, Hashimoto S, Saku T. Keratin 17-positive Civatte bodies in oral lichen planus-distribution variety, diagnostic significance and histopathogenesis. Scientific Reports, 10:14586, 2020.
- 7) Ohashi R, Umezu H, Sato A, Abé T, Kondo S, Daigo K, Sato S, Hara N, Miyashita A, Ikeuchi T, Motoyama T, Kishi M, Nagaoka T, Horiuchi K, Shiga A, Okuda S, Sekiya T, Ohtsubo A, Ichikawa K, Kagamu H, Kikuchi T, Watanabe S, Tanuma J, Schraml P, Hamakubo T, Tsuchida M, Ajioka Y. Frequent Germline and Somatic Single Nucleotide Variants in the Promoter Region of